

河川分科会河川整備基本方針検討小委員会報告

(菊池川水系、久慈川水系、仁淀川水系)

●小委員会開催

- ・ 菊池川水系:10月30日、11月29日
- ・ 久慈川水系、仁淀川水系:12月21日、1月18日

● 各水系に関する主な委員意見、質問とこれに対する対応、説明

○ 菊池川水系

(河川環境)

【質問】自然再生を実施している箇所は2m程度河床が低下している。潮位が上がるとガタが堆積するが、今後自然再生をどのように展開するのか。

【説明】ヤマトシジミ漁が行われ、地域住民の憩いの場であった砂浜環境の復元・再生を目指し、自然再生事業を実施しており、試験施工として、養浜や透過水制の設置を行っている。その結果、河岸付近にはガタ土が堆積し、ムツゴロウやトビハゼ等が生息し、砂地が再生された場では、ヤマトシジミやコメツキガニ等が確認されている。今後、試験施工を継続し、施工後の状況をモニタリングし、多様な環境の創出に努める。

【質問】治水対策として、樹木伐開を行うとのことだが、河畔林は貴重な自然環境を

形成しているので、どのように樹木伐開を行うのか。

【説明】淵との連続性があるような河畔林は極力保全し、流下能力を確保する上で伐開が必要な場合は、段階的に伐開し、急激な環境の変化を回避する。

○ 久慈川水系

(治水対策)

【意見】災害の頻発する近隣の阿武隈川や那珂川と比べ、久慈川の災害が比較的小さい傾向にある理由について整理する必要がある。

【説明】近年の主要洪水に対する降雨分布をみると、阿武隈川・那珂川流域では奥羽山脈から那須岳・高原山にかけての山地部と、阿武隈山地において強降雨域の発生が見られるが、久慈川流域はそれらの降雨域に挟まれ、降雨強度が比較的小さい傾向にある。

【意見】久慈川特有の河道内の水害防備林の維持管理を考える必要がある。

【対応】本文に記載することとした。

【意見】地域防災について、地域住民との協働状況、管理者の対応、現状の説明をすべき。

【説明】防災情報について、河川管理者は浸水想定区域や洪水時の水位等のリアルタイム情報を提供し、沿川自治体は洪水ハザードマップの作成・配布を進めるなど、防災情報の充実に努めている。また、防災意識を啓発するため、河川防災フォーラムや水防訓練の実施など防災力の強化と防災意識を高

める取り組みを進めている。

○仁淀川水系

(土砂)

【意見】仁淀川の河口砂州の変動は複雑であることから、過去に実施された模型実験の結果を確認し、導流堤などの対策を検討すべきではないか。

【説明】模型実験では、河口砂州の変動特性とその影響を調査しており、対策工として、右岸導流堤案、人工砂州案、中導流堤案を検討している。一方、現地では河口閉塞が発生した場合には、維持開削により対応し、大きな問題は発生していないが、今後、河口閉塞や河口砂州の後退状況等をモニタリングし、必要に応じて対策を実施する。

【質問】海岸線が後退しているのは防波堤の整備が影響しているのか。

【説明】海岸の侵食は昭和 22 年以降から確認されているが、防波堤は昭和 61 年から平成 18 年に整備されており、海岸線の後退との直接的な因果関係は明らかになっていない。海岸線後退は河川からの土砂流出の変化や砂利採取等、さまざまな要因が考えられるが、海岸線後退の状況とその要因の把握に努め、適切な土砂管理を推進していく。

【質問】日下川、宇治川、波介川の内水対策は重要なので積極的に推進すべき。
また、地域と協働で地域防災を行うことが必要だが、どのようなことを行うのか。

【説明】日下川、宇治川、波介川等の支川の流域は、仁淀川から離れるほど地盤が低く、内水被害が発生しやすい。このため、支川での放水路、排水機場等の整備や本川での河川整備を推進するとともに、自主防災組織による防災訓練、まちなかに水防災にかかわる各種情報を表示する「まるごとまちごとハザードマップ」の整備等を推進する。

河川整備基本方針検討小委員会名簿

菊池川水系、久慈川水系、仁淀川水系

委員長	福岡捷二	中央大学研究開発機構教授
委員	綾日出教	(社)日本工業用水協会顧問
委員	池淵周一	京都大学名誉教授
委員	石川妙子	水生生物研究者
委員	石島操	全国森林組合連合会代表理事専務
委員	入江登志男	(財)給水工事技術振興財団専務理事
委員	上河潔	日本製紙連合会常務理事
委員	岸井隆幸	日本大学理工学部教授
委員	楠田哲也	北九州市立大学大学院国際環境工学研究科教授
委員	小池俊雄	東京大学大学院工学研究系社会基盤学専攻教授
委員	小松利光	九州大学大学院工学研究院教授
委員	小柳武和	茨城大学工学部都市システム工学科教授
委員	坂本弘道	(社)日本水道工業団体連合会専務理事
委員	佐藤準	全国土地改良事業団体連合会専務理事
委員	鈴木幸一	愛媛大学大学院理工学研究科教授
委員	谷田一三	大阪府立大学大学院理学系研究科生物学専攻教授
委員	中川一	京都大学防災研究所流域災害研究センター教授
委員	松田芳夫	中部電力(株)顧問

委員	宮村 忠	関東学院大学工学部土木工学科教授	
委員	虫明 功臣	福島大学理工学群共生システム理工学類教授	
委員	本山 幸嘉	菊池川流域連携会議事務局長	
委員	森 誠一	岐阜経済大学経済学部教授	
委員	森田 昌史	(財)日本水土総合研究所理事長	
委員	潮谷 義子 (代理)	熊本県知事 松 永 卓	熊本県土木部河川課長
委員	佐藤 雄平 (代理)	福島県知事 高橋 康 寛	福島県土木部河川港湾領域土木部 参事(兼)河川企画グループ参事
委員	橋本 昌 (代理) (代理)	茨城県知事 早乙女 秀 男 伊藤 正 秀	茨城県土木部都市局河川課長 茨城県土木部都市局長
委員	福田 富一 (代理)	栃木県知事 久保 章	栃木県土木部河川課長
委員	加戸 守行 (代理) (代理)	愛媛県知事 樋口 志 朗 八 塚 眞喜雄	愛媛県土木部河川港湾局河川課 技術課長補佐 愛媛県土木部河川港湾局河川課長
委員	尾崎 正直 (代理) (代理)	高知県知事 永 野 聖 長谷部 和 英	高知県土木部河川課長補佐 高知県土木部河川課長